

煎餅の破断現象の一例

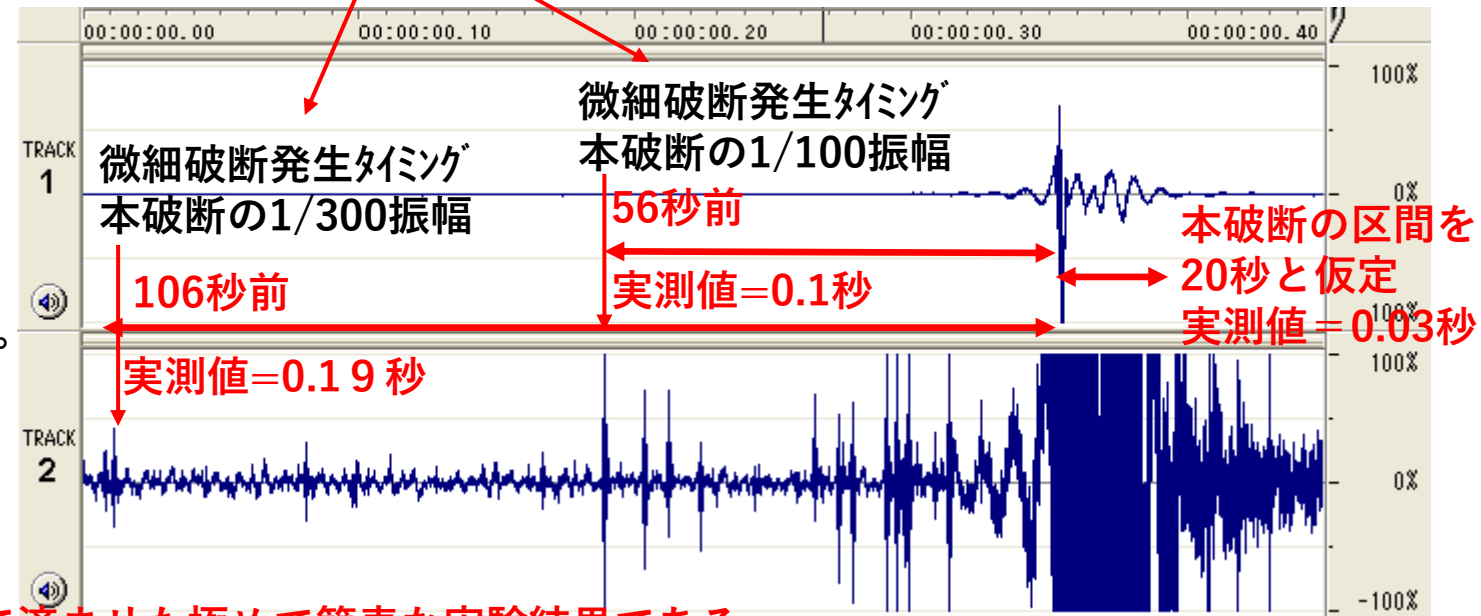
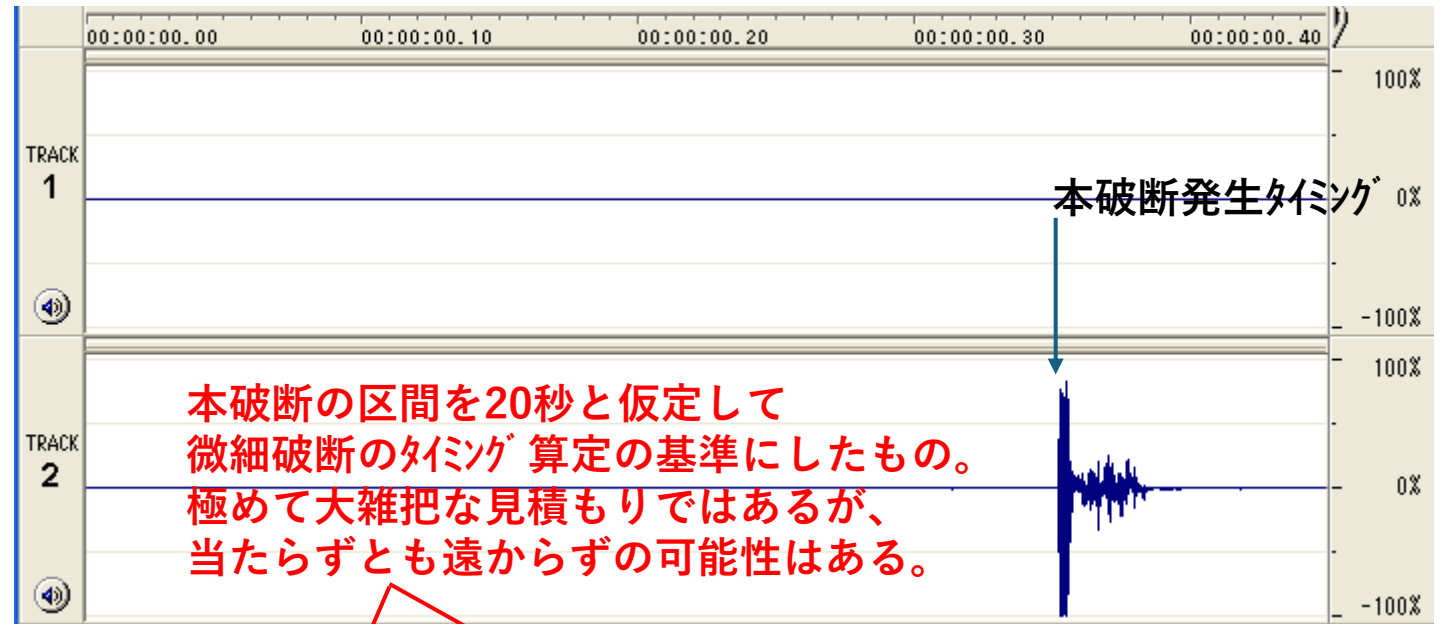
本実測は初期微動継続時間ではなく、
本破断の直前の微細破断に関する。
直下型地震の直前警報手法の提唱である。
J-soundscience.comに掲載

実測値



極めて大雑把な推測である。
図は煎餅を割った時の音信号（振動）のデータである。
「割れた時のタイミングの前に微細な破断がある」、との
推定に基づく実測結果である。
煎餅と地震では実態は異なるが、
破断現象としては同じであることから、
本破断直前の微細破断の存在の可能性に期待して、
本破断のどのくらい前に微細破断が始まるか？の
初期の初期、第一段階での実験結果である。
私の手を放れて本格的な検証が始まることを期待する。
(角元純一 徳島市在住 82歳)

実測値振幅 * 100



この実測は今回の熊本地震をきっかけに、
「本振の前に微細破断がある」との前提で3時間ほどで済ませた極めて簡素な実験結果である。
専門家による高度な手法や信号処理を作用させることで実用性のある結果が得られる可能性がある、との考えでの提唱である。